



羅針盤



2024年4月19日発行

- 必ず保護者にも確認してもらいましょう -

入試本番のテスト中は面接と同じと心得るべし！ PART I

昨日、国語と数学の全国学力調査がありました。先生は77期生みんなの進路担当として、ときには耳の痛い話もしなければならない立場なので、少し気になったことを書きます。1時間目、先生は3年3組の監督でした。先生にとっては、77期生のみんながどんな姿で50分間の問題に取り組むのかを知ることができる最初のチャンスです。結果はどうだったのか…。3年3組のなかにも勉強が苦手な人はいると思いますが、全員が最後まで諦めずに問題に取り組んでいました。実に素晴らしいことです😊。ところが2時間、先生は監督にあたっていなかったので77期生みんなの問題に取り組む姿を見ようと学年廊下を歩くと、とても残念な光景をチラホラと目のあたりにしてしまいました😞。勉強が苦手な人にとっての50分間はとても長く、つらい時間であることは先生にも理解できます。でも、入試本番のテスト監督の先生方は、入試問題と必死に格闘しているみんなの姿をしっかりと見ています。こんな話をする、イラストのような姿の人にかぎって「入試のときはちゃんとする」と言い訳をしますが、絶対に無理です。入試本番という非日常の空間のなかでは、いくら気をつけよう、いくら注意しようとしても、気がつけば本来の自分の姿が出てしまうものです。進路とは「日々の生活の延長線上にある」の意味がそこにあります。ちなみに、先生は長い教師生活のなかで、受検者数が募集定員に達していないのに受検態度がよくなかったということで公立高等学校を不合格になった生徒を知っています。理由を高等学校に尋ねると、テスト中に机に伏せていて、合格してこの学校で頑張りたいという意欲が感じられなかったということでした。この話を職員室でしていると、四十九先生も、同じような結果になった生徒を知っていると言われていました。みんなはもう義務教育最上級生です。ぜひ、苦手なことであったとしても、しんどいことであったとしても、めんどくさいことであったとしても、あたり前のことをあたり前にできる力を身につけてください。そして、77期生みんなの修学旅行を少しでも思い出あるものにしようと朝早くから夜遅くまで頑張っておられる高濱先生の思いに応えるためにも、そんな集団になってください。自分が楽しいことだけ、自分が興味あることだけしか頑張ることができない人は、何歳になっても大人のふりをしたお子ちゃまですよ。



☆オープン・ハイスクール等の案内☆

(各自でWeb申込み) ※詳細についてはQRコードから確認してください。

5/12(日)【通信制高校・サポート校進路相談会】

対 象	生徒・保護者	案 内 プ リ ン ト	な し	申 込 み × 切	予約申込み制
-----	--------	-------------	-----	-----------	--------

- ・会 場 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー8F(大阪市北区梅田 2-2-2)
- ・時 間 12:30~16:00
- ・備 考 自分のペースで通える高校を捜している生徒とその保護者を対象に「全日制高等学校」「通信制高等学校」「通信制サポート校」「高卒認定予備校」等が集う相談会です。申込み×切日は明記されていませんが、事前に予約申込みの手続きを行ってください。起立性調節障害相談コーナーもあります。6月上旬(日時はまだ未定)に、三宮でも開催されます。



